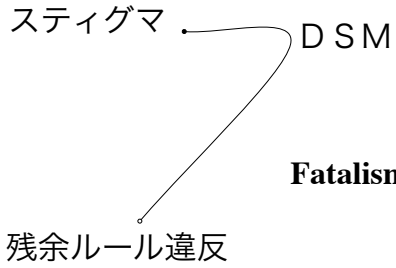




1. 医療は、科学でもない実践でもない社会制度である Weak bonds between people
2. 個人 (患者) と社会 (公的医療) の間の関係の過去・現在・未来は？
3. 高齢化社会に日本はどのように対応すべきだろうか？
4. 医療政策と個人の生活の質 (QOL) の関係は、過去・現在そして未来は？
5. 生殖技術の発達は、将来の社会における個々の人間関係をどう変えるか？
6. 慢性疾患や障がいの増加に、公的な医療支出はどこまで耐えられるか？
7. 上掲の諸問題に、政府はどのようにこれから対策を講じるべきか？

個人に焦点があたる

5月14日 (水) スティグマ論



素人の知識

抗生物質

Group-axis by Mary Douglas

6月11日 (水) 病いと健康をみる新傾向

意識変容物質

ドラッグ

慢性疾患

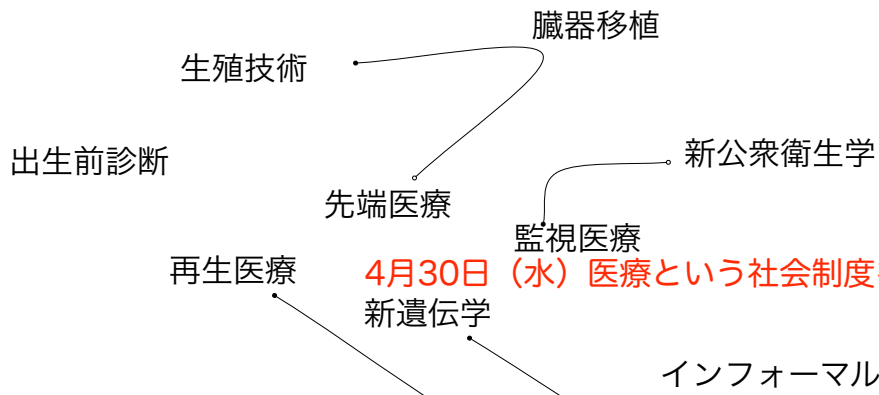
Individualism

自己規制

感情労働

医師-患者関係

4月16日 (水) 病人とは誰か？病むこととはどのような意味をもつのか？



4月30日 (水) 医療という社会制度を支える学知と技術

QOL

ターミナルケア

ホスピス



人体実験

6月04日 (水) コミュニケーションと死

人びとの間の類似性

Many and varied interpersonal differences

Grid-axis by Mary Douglas

人びとの間の多様性

グローバリゼーションと医療

Significant similarity between people

5月21日 (水) 社会統制を可能にする？

意味づけとしての病

病の語り

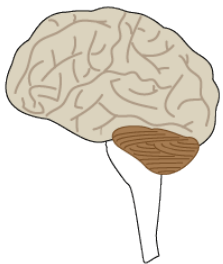
診療ガイドライン

5月07日 (水) 医療制度論 (2)

予防接種

EBM

7月02日 (水) 医療社会学者群像



ストレス

6月18日 (水) 新しい概念と用語

医療施設

近代医療

分業

死の気づき (aware of death)

健康保険

人間ドック

薬の規制

医事行政/医療施策

5月28日 (水) 医療専門職論

ジェンダー

4月09日 (水) 医療制度論 (1)

Egalitarianism

生物医学

Collectivism

健康食品

医療化

多元的医療システム

4月23日 (水) 職業としての医療職

健康至上主義・ヘルシズム

医学知識・技術の社会的構築

社会運動

専門職支配



6月25日 (水) 日常生活に組み込まれる生物医療

集団に焦点があたる

福祉国家と医療

Strong bonds between people